



第1回五所川原マラソン

スポーツを通して市民の体力増進を図ろうと10月20日、市教委主催、五所川原ロータリークラブと五所川原中央ロータリークラブ後援の「第1回五所川原マラソン」が、北斗グラウンドを中心に行われました。同マラソンは、小学5年以上の市民を対象としたもので、中・高校生や大人まで合わせて約150人が参加。競技は、小学5・6年男女が1km、中学男女と高校・一般女子が3km、高校・一般男子が6kmの3種目で行われ、それぞれの種目に熱戦が展開されました。この日は、早朝まで雨が降り、コースの所々に水たまりができ、そのうえ肌寒い風が吹くという悪いコンディションでしたが、途中棄権者もなく全員完走しました。上位入賞者は次のとおり。

◎小学校男子 ①伊藤勝幸(梅泉) ②中川敦(松野木) ③木村英次(松島) ◎小学校女子 ①小野忍(飯詰) ②神成めぐみ(松島) ③富士奈穂美(東小) ◎中学校男女、高校・一般女子 ①三浦修彰(五四中) ②高橋恭一(五二中) ③小野直美(五一中) ◎高校・一般男子 ①斎藤公伸(五高) ②畑山彰一(一般) ③藤田武道(五東)

市民総合文化祭始まる

—文化祭の関係者を激励—

市文化振興会議(敦賀喜久蔵会長)主催の「市民総合文化祭」が10月27日から始まり、森田市長がその関係者を激励しました。

同文化祭は、市民の芸術文化の交流と振興を図ることを目的に、市中央公民館を主会場に開かれているもので、今回で25回目。

参加団体も書道、絵画、合唱、茶華道、盆栽や詩吟など27団体に上っています。

森田市長は11月3日、それぞれの団体の展示・発表会場をたずね、「大変ご苦労様です。市民の文化の向上のために頑張ってください。また、貴会のますますの発展をお祈りします」と関係者を激励しました。



市民総合文化祭協賛

県下川柳大会

川柳岩木吟社(小山吉朗代表)主催の県下川柳大会が10月二十七日、市中央公民館で開かれました。

この大会には、津軽地域はもとより八戸市や秋田県など各地から柳人約七十人が参加。「生まじめ」、「痛快」など七つの宿題、「火」、「自信」など三つの席題と「金偏」二字を含む句をつくる。特別課題で行われ、参加した人達は真剣な表情で取り組んでいました。

上位入賞者は次のとおり。

宿・席題の部
①王藤寿久(弘前) ②千島鉄男(弘前) ③福土光生(尾上)

特別課題の部

①新岡二三夫(青森) ②村上志朗(弘前) ③王藤寿久(弘前) (敬称略)



市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

昭和60年

No.603

11-15

毎号とじこんでください。後できつとお役に立ちます。

盛況裡に終る 肉の即売も

上をはかろうと11月2日から2日間に開かれ、多くの人々にぎわいました。

初日の開会式では、森田市長が「農業の振興こそ常に最重要課題であり、この農業まつり開催を契機に、今後一層農業の振興を図っていきたい」とあいさつ。引き続き、県知事代理の川

この農業まつりは、市、市農協、津軽中央農協、七和農協、農業青年会議などの共催によるもので、市民体育館を主会場に開かれました。

また初日には、五所川原

米消費拡大、健康相談などの各種コーナーが設けられました。一方、図書館では転作事例、農業後継者体験等発表会や記念農事講演会、駐車場では農業機械展示実演会も開かれました。

ミスに今さん 準ミスに清野さん、横島さん

『ミスりんご娘』



農業まつり開会のテープカットを行う森田市長(中央)、川浪市議会議員(左)、川島北地方農林事務所長(右)



ミスりんご娘の今さん(中央)、準ミスの清野さん(左)と横島さん(右)

島康平北地方農林事務所長と川浪直治市議会議員がそれぞれ祝辞を述べました。

この後、会場では農林産物等の共進会や展示即売会、家庭不用品の即売会、市営牧場運営後初の五所川原牛肉の即売会、西北五物産品即売会などが開かれたほか、



西北五物産品の即売会場



昆沙門地区住民による農産物加工品即売会場



多くの参観者が訪れた共進会場

県営農場整備事業竣工式



祝辞を述べる森田市長

同事業は昭和四十七年度着工以来、約十四年の歳月と五億円の事業費が投じられ、このほど竣工したものです。式典では、五所川

場整備事業の竣工式典が十月十八日、中央公民館で関係者約三百五十人が出席して行われました。

五所川原北部土改区

ほ場整備竣工式典挙行

市では九月五日、森田市長を本部長とする県、市、農協などからなる「台風十三号被害対策本部」を設置。県、市に対し「天災融資法の適用」、「既借入金条件緩和」などを強く要請し

また、市では十月二十九日、第二回目の対策本部会議を開き、所期の目的を達成したことから同本部を解散、今後は、それぞれの部署において被害農家との相談に応じます。

政府は十月二十五日の閣議で、台風十二・十三号の被害に対し、天災融資法の発動を決定。また、本県と熊本、鹿児島県を激甚災害に指定しました。台風十三号による本市の被害は、りんごの落果を中心としたもので、その被害総額は約八億円余に上っています。

この適用によって、被害農家では低利な天災資金が最高限度二五〇万円まで借入れできるほか、県、市から利子補給を受けることとなります。

台風りんご落果が激甚災害に 天災融資法発動なる

てきました。このたびの適用は、被害の大きかった本県と九州のセットで決まったもの。



第2回 市農業まつり — 市初の産地牛

農家の生産意欲の高揚と農業技術の向
わたって、「五所川原市農業まつり」が

りんごの消費拡大のコンパニオンとして活躍してもらう「ミスりんご娘コンテスト」も行われ、和やかなうちに厳正な審査の結果、応募者十五人の中からミスに今博子さん(飯詰)、準ミスに清野昌美さん(飯詰)と横島典子さん(戸沢)が選ばれました。

農業まつりの最後には、優良な農林産物等の出品者に対する表彰式が行われました。

最優秀受賞者は次のとおりです。



(敬称略)

- 水稲部門 沢田昭三(毘沙門)
- りんご部門 岩崎雅文(金山)
- 野菜部門 山口義博(毘沙門)
- 花き部門 越谷正博(飯詰)
- 農村生活部門 工藤愛子(藻川)

食生活改善・米消費拡大コーナー



優良農林産物等出品者に対する表彰



健康相談コーナー



家庭不用品即売会場

本市で県初の先端技術研修会

青森テクノポリス開発機構

原北部土改区の佐藤浪三郎理事長職務代理者が、「今後とも、県の指導のもとに、米の生産地としての責務を十分認識し、地域農業の発展と食糧の確保につとめていきたい」と式辞を述べました。

その後、森田市長が「農業はあらゆる産業の基礎であり、今後とも食糧供給基

地としての誇りをもって、また施設の管理に十分意を用いられ、地域農業の発展と経営の近代化に一層ご尽力くださることを期待します」と祝辞を述べました。

同土改区では、この式典に先立ち「記念碑」(若葉・ライオンズの森)の除幕式を行いました。

地域産業への先端技術の導入を促進し、地域の振興を図ろうと十月二十二日、先端技術研修会が飯詰の青森職業訓練短大で開かれました。

この研修会は、青森テクノポリス開発機構が主催したもので、企業の技術者、農協職員、高校教員など約八十人が出席。テーマは、現在ハイテク多機能機械として注目されている「食品用二軸型エクストルーダー」(注参照)が取り上げられました。

講師には、この分野の研究者として第一線で活躍されている野口明徳農林水産省食品総合研究所製造工学研究室長、若宮祐喜三菱重工業名古屋機器製作所主務

③ 食品用二軸型エクストルーダー(加圧抽出成型機) 金属パイプの中に二本のスクリューを平行に組み込んだ加工機械で、パイプの一端から食品原材料を入れ、スクリューで移送する間に混合、殺菌、成型といった一連の加工工程が連続して短時間のうちにできる機械。

出稼者とその留守家族を激励

出稼される人達とその留守家族を励まそうと十月二十五日、市民文化会館で激励会が開かれました。

これは、市出稼協会(会長・森田市長)と市内農協懇談会(会長・三上光男七



引き続き三上農協懇談会長があいさつし、須々田謙介公共職業安定所長が祝辞を述べました。

その後アトラクションとして、七ツ館小、羽野木沢小の児童による獅子舞や自慢のノドを競うカラオケ大会などがあり、出席した人達は楽しいひと時を過ごしました。

五一中創立20周年記念式典挙行

プール落成も祝う

創立二十周年を迎えた五所川原第一中学校(三上農協校長 生徒数千二百九十六人)では十月十九日、同校でその記念式典を挙行しました。

同校は、昭和四十年四月一日、五所川原中と松島中の二校が統合、「五所川原

第一中」として誕生したもので、これまで数多くの有名な人材を輩出してきています。

記念式典はプール落成記念も兼ねて行われ、同校の先生と生徒全員、PTA役員、来賓として森田市長、歴代校長、歴代PTA会長

学校火災を想定

五所消防総合訓練を実施

秋の火災予防運動三日目の十月三十日、五所川原商業高等学校(下山弘校長 生徒数九百三十人)で学校火災を想定した消防総合訓練が行われました。

訓練には、五所川原消防署から四十級級と十六級級のハシゴ車と救急車など四台も出動。

学校が消防署へ通報してから約三分後に消防車が到着し、逃げ遅れた四人の生徒と職員、重傷者を屋上と四階からハシゴ車と救助隊によって救助。また、救急隊による負傷者の搬送などの訓練が手際よく行われたほか、同校の生徒を対象に消火器の使い方の訓練も行われました。

また、この日は同校三年



一日婦人消防官の小松さん、藪田さん、乳井さん、加藤さん、米谷さん(左から)

また、この日は同校三年

市長賞に 齋藤さん 土岐さん

少年の主張発表大会

市の小松律子さん、藪田津晚さん、乳井由子さん、加藤美智代さん、米谷みどりさんの五人に対し、「一日婦人消防官」の委嘱も行われました。

少年の主張発表大会
市教育委員会などが主催の「60年度市少年の主張発表大会」が十月二十九日、働く婦人の家で父母や児童、生徒など約五百五十人が出席して開かれました。

同大会は、小・中学生が日頃考え、感じていることなどを発表し、親と子、大人と子どもが相互に理解を深めあおうと開かれているもので、今回が五回目。

審査の結果は次のとおりです。

- ◇小学校の部
 - 市長賞 齋藤まゆみ(梅泉小6)
 - 教育長賞 大西大幹(中央小6)
 - 学校警察連絡協議会長賞 岩村順子(中央小6)
 - 青少年問題協議会長奨励賞 渡辺勝仁(鶴ヶ岡小6)
 - 福岡朱美(南小5)、坂本千恵(飯詰小6)

- ◇中学校の部
 - 市長賞 土岐剛大(三二中2)
 - 教育長賞 三橋香織(一中2)
 - 学校警察連絡協議会長賞 伊藤緑(四中3)
 - 青少年問題協議会長奨励賞 前田竹洋(四中2)、石岡由美子(二中3)、長尾恵里(三中1)

61年度保育所 入所申請受付

市では、来年四月一日から保育所に入所を希望する児童の入所申請を十二月七日(土)まで受け付けています。

▽受付場所
市福祉事務所(入所申請用紙は、当所及び各保育所にあります。)

▽対象児童
益間家庭で保育してもらえない乳幼児(生後四か月以上、就学前まで)

詳細については、市福祉事務所児童係(☎352111番 内線二四三番)へどうぞ。



〔表1〕 人件費の状況(普通会計)

区分	住民基本台帳人口 (年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)
58年度	59,331 52,530	千円 12,474,178	千円 160,498	千円 1,996,985	% 16.0

(注) 人件費には、特別職に支給される給料、報酬が含まれています。

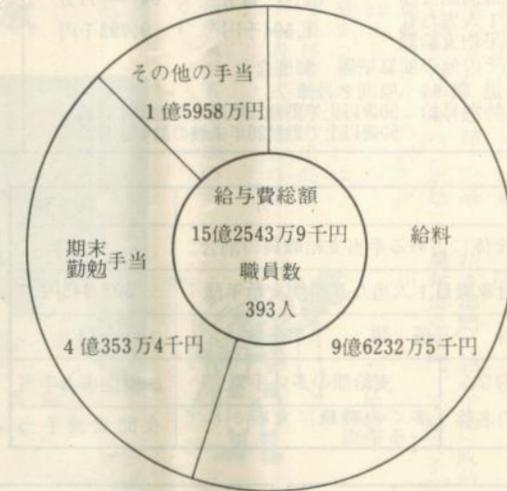
人件費の状況

昭和五十八年度普通会計決算による人件費の状況は「表1」の通りです。また、昭和六十年普通会計当初予算による人件費のうち、一般職員の給与費は円グラフのとおりです。

市職員の給与の状況について、その概要をお知らせします。

市職員の給与の状況

職員給与費の状況(普通会計)



職員給与の状況

(給料)

1 職員数には、特別職は含みません。
2 給与費及び職員数は、当初予算に計上されたものです。
3 その他の手当は、扶養、住居、通勤、管理職、特殊勤務などの手当です。(退職手当は含みません)

(注) 職員数には、特別職は含みません。一般行政職員の平均年齢及び平均給料月額は、「表2」のとおりです。また、一般行政職員の初任給及び学歴別・経験年数別の平均給料月額、初任給の状況は「表3」のとおりです。職員の給料は、職務の責任の程度に応じ等級ごとに区分されていますが、一般行政職員の等級別の職員数の状況は「表4」のとおりです。

〔表3〕 一般行政職員の初任給及び学歴別・経験年数別平均給料月額の状況 (昭和60年4月1日現在)

区分	初任給	採用2年経過日給	経験年数		
			10年	15年	20年
大学卒	107,500	118,800	150,200	210,700	—
高校卒	90,700	96,600	136,500	179,260	211,122

〔表2〕 一般行政職員の平均年齢及び平均給料月額の状況 (昭和60年4月1日現在)

区分	五所川原市	国
平均年齢	41.8歳	39.8歳
平均給料月額	210,500円	219,097円

〔表4〕 一般行政職員の等級別職員数の状況 (昭和60年4月1日現在)

区分	特1等級	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	計
標準的職務内容	部長	課長	課長	課長補佐	係長	主事	主事補	
職員数	12人	5人	68人	76人	96人	77人	10人	344人
構成比	3.5%	1.4%	19.8%	22.1%	27.9%	22.4%	2.9%	100%

(諸手当)

● 期末・勤奨手当(いわゆるボーナス)は、国と同じで年四・九カ月分となっています。

● 退職者に支給される退職手当は、退職時の給料と勤続年数を基として計算されますが、その支給率は退職の事由により変わります。

● 調整手当は、医療職給料表(一)の適用を受ける職員に支給されます。

● 特殊勤務手当は、危険、不快あるいは勤務時間の変則など、特殊な勤務をした職員に支給されます。

● 時間外勤務手当(超過勤務手当)は、正規の勤務時間外に勤務したときに支給されます。

● 扶養、住居、通勤の各手当は、支給要件に該当した場合に支給されます。国の制度と同じです。

以上、諸手当の状況は「表5」のとおりです。

(次ページへつづく)

〔表5〕 職員手当の状況

（前ページから）

区 分	五 所 川 原 市			国		
期 末 手 当	〔60年度支給割合〕 6 月期 1.4月分 12月期 1.9月分 3 月期 0.5月分 計 3.8月分			〔60年度支給割合〕 6 月期 1.4月分 12月期 1.9月分 3 月期 0.5月分 計 3.8月分		
勤 勉 手 当	勤 勉 手 当 0.5月分 0.6月分 1.1月分			勤 勉 手 当 0.5月分 0.6月分 1.1月分		
退 職 手 当	〔支給率〕 勤 続 20 年 22,4186 月分 勤 続 25 年 30,415 月分 勤 続 35 年 50,165 月分 最高限度額 62.14 月分 1人当たり平均支給額 1,594千円 その他の加算措置 制度なし 退職時 原則2号俸 特別昇給 50歳以上で勤続20年以上の勤奨4号給 50歳以上で勤続20年未満の勤奨3号給			〔支給率〕 勤 続 20 年 21.0 月分 勤 続 25 年 33.75 月分 勤 続 35 年 47.5 月分 最高限度額 60.0 月分 定年前早期退職特別措置 (2%~20%加算) 退職時 1号俸 特別昇給		
	自己都合 30.03 月分 勤奨・定年 44.7205 月分 64.548 月分 64.548 月分			自己都合 28.875 月分 勤奨・定年 44.55 月分 62.7 月分 62.7 月分		

特殊勤務手 当 (58年度)	区 分		全 職 種
	職員全体に占める手当支給職員の割合		33.3 %
	支給対象職員1人当たり平均支給年額		302,443円
	手 当 の 種 類 (手当数)		24
	代表的な 手当の名称	支給額の多い手当 多くの職員に支給されている手当	診療従事者手当 夜間看護手当

調整手当 (60年4月 1日現在)	支 給 率	9 %
	支 給 対 象 職 員 数	17 人
	国 の 制 度 (支 給 率)	9 %
	支 給 対 象 職 員 1 人 当 たり 平 均 支 給 年 額 (58年度決算)	448,944円

(60年4月1日現在)

時間外勤務手 当	58 年 度	支 給 総 額	千円 82,652
		職員1人当たり 支給年額	千円 108
	57 年 度	支 給 総 額	千円 73,347
		職員1人当たり 支給年額	千円 96

区分	支 給 要 件	手 当 額 (月額)
扶 養 手 当	次に掲げる者で他に生計のみ ちがなく、主としてその職員の 扶養を受けているもの 配偶者、18歳未満の子及び孫、 18歳未満の弟妹、60歳以上の父 母及び祖父母、重度心身障害者	配偶者 13,200円 配偶者以外の扶養親族のうち2人まで 4,200円 配偶者のない職員の扶養親族のうち 1人 8,900円 その他1人 1,000円
	(借家) 住宅を借り受け月額 9,000円を超える家賃 を支払っている職員 (自宅) 自宅を所有している 職員	(借家) 1) 家賃16,500円以下支払っている 職員 家賃-9,000円 2) 家賃16,500円を超えて支払って いる職員 (家賃-16,500円) × 1/4 + 7,500円 7,200円限度 (自宅) 1,000円 ただし、取得後5年間は 2,500円
住 居 手 当		
通 勤 手 当	通勤距離が片道2 km以上にな る者で、交通機関を利用し、あ るいは交通用具を使用して通勤 している職員	(交通機関利用者) 運賃相当額。ただし、運賃等相当 額が18,300円を超える場合は、 18,300円にその超えた額の2分の 1の額(3,400円限度)を加算し た額 (交通用具利用者) 2,000円~3,600円

〔表6〕 特別職の報酬等の状況

(60年4月1日現在)

区 分	給料(報酬) 月額	期 末 手 当
市 長	655,000円	(支給割合) 6 月期 1.4月分 12月期 1.9月分 3 月期 0.5月分 計 3.8月分
助 役	545,000円	
収入役	490,000円	
議 長	315,000円	
副 議 長	285,000円	
議 員	265,000円	

健康 コーナー



精神衛生講座へどうぞ

- ▷日時 11月19日(火) 午後1時~3時
- ▷場所 五所川原保健所
- ▷講師・テーマ
 - 精神衛生対策について
五所川原保健所長 櫻庭廣次先生
 - ボケ予防のために(すこやかな老後を過ごすには)
西北中央病院副院長 村本幸栄先生
- ▷主催 五所川原保健所

移動保健所のお知らせ

- 五所川原保健所では高野地区に移動保健所を開設します。健康チェックにまたとない機会ですので多数おいでください。
- ▷日時 12月3日(火) 午前9時30分~11時まで
 - ▷場所 高野文化センター ▷料金 無料です
 - ▷内容
 - ①身長、体重測定
 - ②血圧、心電図検査
 - ③尿、血液検査
 - ④栄養指導
 - ⑤保健指導
 - ⑥総合健康診断

乳幼児の健康診査

- ▷場所 市保健センター
- ▷受付時間 午後1時~1時30分まで
- ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。3歳児は尿検査も行いますので、当日きれいに洗った小ビンに尿を入れてもってきてください。
- ▷注意 6カ月児の健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配布します。
- ▷お願い なお病氣療養中(特に伝染性の病氣)のお子さんとはご遠慮ください。

月	齢	対象児	期日	内容
3	カ	月	S60年8月生れ	12月10日(火) 健康診査
6	カ	月	S60年5月生れ	12月17日(火) 健康相談
1	歳	児	S59年11月生れ	12月23日(月) 健康相談
1	歳	6カ	S59年6月生れ	12月24日(火) 健康診査
3	歳	児	S57年8-9月生れ	12月19日(木) 健康診査

▷お問い合わせは
市衛生課(☎35/2111 内線268・272番)へどうぞ。

小西純二(金属工芸)作品展

- ▷日時 11月22日~24日 午前11時~午後7時
(最終日は午後5時まで)
- ▷場所 ギャラリー・デネガ(弘前市上瓦ケ町11-2)
- ※小西純二氏は、青森職訓短大の機械システム系の教官で、主に金属成形学を担当しています。

つくる健康

市では四十歳以上の方を対象に成人病の早期発見を目的とした一般健康診査を実施しております。
対象の方はぜひ受けるようにしてください。
職場等で受けられる方は除きます。
▽実施期間
十月一日から十二月二十七日まで。
▽時間 午前十時から午後三時まで。ただし西北中央

なくそう成人病

病院は午前十一時まで
▽受診方法 受診券を医療機関窓口にお出し下さい。
受診券は市衛生課、市役所各支所、実施医療機関でお受け取り下さい。
▽診査内容 問診、身体計測、理学的検査(打診、聴診、触診)血圧測定、検尿
また、医師が必要と判定した場合は精密診査が実施されます。
▽診査料金 一般健康診査

実施医療機関	
小笠原内科医院	院
兼平内科小児科医院	院
川崎胃腸科内科医院	院
富田胃腸科内科医院	院
西北中央病院	院
木村内科医院	院
白生会胃腸病院	院
佐々木医院	院
佐藤内科小児科医院	院
佐藤仁外科胃腸科医院	院
荘司内科医院	院
白戸胃腸科外科医院	院
田辺胃腸科外科医院	院
対馬内科小児科医院	院
中村内科医院	院
増田病院	院
松野医院	院
復明堂医院	院
森田診療所	所
三好診療所	所
森内科小児科医院	院
江渡医院	院
健生病院五所川原診療所	所

※都合の良いところで受けて下さい。

無料、精密診査千円。ただし七十歳以上の方、生活保護受給者、市民税非課税世帯の方は無料となります。
▽問い合わせ先
市衛生課(☎35/2111 内線二七二番)

「福祉タクシー」のご利用を二級が対象

「福祉タクシー」とは、利用券(三枚綴、一枚四百円)の交付を受けられた方が、タクシー乗車の際、運転手に身障者手帳を提示し、料金に相当する利用券か、利用券に差額の現金を添えて支払いをするものです。これは、在宅で目の不自由な方の社会参加を図るために実施しているものです。
▽該当者
在宅の視覚障害者で、身体障害者(一級または二級)を持っている人。ただし、市内に住所を有し、住民登録されている人。
▽受付 土曜日の午後、日曜日、祝祭日を除いた平日
▽手続き 印鑑と手帳を持参のうえ、利用券交付申請書を提出してください(代理人でも可)。
申請や詳しいことは、市福祉事務所福祉係(☎35/2111 内線二〇番)へどうぞ。

視覚障害者(一級または二級)を持っている人。ただし、市内に住所を有し、住民登録されている人。
▽受付 土曜日の午後、日曜日、祝祭日を除いた平日
▽手続き 印鑑と手帳を持参のうえ、利用券交付申請書を提出してください(代理人でも可)。
申請や詳しいことは、市福祉事務所福祉係(☎35/2111 内線二〇番)へどうぞ。

成人式「はたちの主張」

発表原稿募集

今年度の成人式は、明年一月十五日に開催いたします。

市では、今年度も新しく成人になられた人に、日頃感じていることを述べていただく「はたちの主張」発表を予定しています。

その発表原稿を次のとおり募集しますので、ふるってご応募ください。

▽テーマ 成人式を迎えるにあたって感じていること(標題については、各自で)

「総合市民相談所」

のお知らせ

市では、市民の日常の悩み、困りごと、心配ごとを解消し明るく楽しい家庭生活を築いてもらうため、次の日程で「一日総合市民相談所」を開きます。お気軽にご利用ください。

▽日時 十一月二十八日(木)午前10時から午後三時まで

▽場所 市民文化会館

▽相談内容 土地建物、借地借家、登記、金銭貸借、相続贈与、交通事故、困りごと、国税、職業相談及び

のうえ、三名選出し成人式当日発表していただきます。(2)発表者には、記念品を贈呈いたします。

十六ミリ映写機 操作技術講習会

西北五視聴覚教育協議会

▽日時 十二月十一日(土) 二日 午前九時～午後四時三十分

▽場所 市中央公民館

▽受講料 千五百円(テキスト代を含む)

▽修了証 合格者には修了証を交付します。

お申し込みやお問い合わせください。

夜勤専従看護婦を募集

西北中央病院

▽応募資格 看護婦免許を保持している人。

▽採用人員 若干名

▽採用期日 随時

▽提出書類 履歴書

詳しいことやお申し込みは、市立西北中央病院管理課庶務係(☎35三二二二番 内線二七九番)へどうぞ。

せは、市中央公民館(☎35六〇五六番)へどうぞ。後援 西北教育事務所

身障者手帳の返還届を

身障者手帳の所持者で、既に死亡された方のご家族は、身障者手帳返還届の手続きをしてください。

手続きには、身障者手帳と印鑑が必要ですが、手帳を紛失、または破棄された方は印鑑だけで結構です。

なお死亡後、既に数年経過していても、まだ返還届をされていない場合は、届け出をお願いします。

詳しいことや届け出は、市福祉事務所福祉係(☎35二二二二番 内線二二〇番)へどうぞ。

「観音林遺跡」第3次発掘調査報告書

ご希望の方へ有償配布

市教育委員会では、昨年発掘した松野木「観音林遺跡」の第三次発掘調査報告書を有償配布(二部千八百円)しています。

ご希望の方は、市教育委員会・社会教育課(☎35二二二二番 内線二五〇番)へおいでください。

なお、次の発刊書も有償配布中です。

「五所川原市史年表」千二百円
「福泉遺跡」千円
「観音林遺跡(第二次)」千二百円

乗ったらしめよう

心とベルト

俳句

五所川原俳句会提供

北吹くや木目あらわに忿怒仏
林橋並木熟れて津軽に嫁迎ふ
八十路わが無月の闇に南無阿弥陀
澄む湖に何を語らん乙女像
秋の蝶風の吐息に羽たむ
父の忌のはらからとある秋燈下

斎藤 今日子
斎藤 さだ
野村 とし
対馬 暉子
松宮 梗子
成田 市子

職業訓練生募集

(職業自立をめざす身体障害者の方へ)

▽訓練科目 ビジネス文書(ワープロ)、経理事務、電子機器、機械製図、写真植字、ミシン縫製、塗装など17科目

▽訓練期間 61年4月から1年(義肢装具科のみ2年)

▽募集期間 第1回 61年2月8日まで 第2回 61年3月11日まで

※授業料は無料、手当が支給されます。寮の設備もあります。

詳しくは、東京身体障害者職業訓練校(☎0423-41411番 小平市小川西町2-34-1)へどうぞ。